



みなさんの疑問にお答えします！

耐震化ミニ質問コーナー

耐震化総合相談窓口ではこのような疑問に答えます。

Q1.管理組合の議論が進まない。
どうやって合意を取れば
いいの？

A1.相談窓口で案内している専門家の
アドバイザー派遣制度を利用すれ
ば、組合内での議論のサポートも
受けることができます。

Q2.耐震診断や改修のための資金
がない。

A2.各種助成制度のご案内や資金計
画に関するアドバイスを行って
います。

Q3.マンションが旧耐震基準
マンションなのか確認したい。

A3.建築確認の日付が昭和56(1981)年
5月31日以前であれば旧耐震基準
マンションです。
建築確認済証や建築台帳での日付
の確認方法もご案内します。

Q4.耐震化の専門的な知識がなく、
よく分からない。
誰かに相談したい。

A4.相談窓口には、建築士などの
資格を持った経験豊富な相談
員がおります。

耐震化のご相談は
東京都 耐震化総合相談窓口（無料）

☎ 03-5989-1470



マンション耐震化通信アンケート
通信に関する感想・要望はこちら！

マンション全体の耐震化に取り組めないときは、先行して
倒壊等の危険性が高いピロティの補強をしましょう！



命を守るためのピロティ階等緊急対策事業（補助）



申請先：（公財）東京都防災・建築まちづくりセンター 電話：03-5989-1453

2024年度耐震キャンペーン

令和6年9月1日～令和7年1月17日まで

戸建住宅の耐震化ってなにをするの？

疑問解消のための講演会

耐震改修成功事例見学会 他



東京都 耐震キャンペーン



令和6年8月発行 登録番号（6）22

編集・発行
東京都住宅政策本部民間住宅部マンション課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5320-4944

作成協力：特定非営利活動法人 耐震総合安全機構（JASO）
一般社団法人 東京都建築士事務所協会（TAAF）
一般社団法人 日本建築構造技術者協会（JSCA）

印刷：株式会社サンワ
東京都千代田区飯田橋二丁目11番8号
電話 03-3265-1816

石油系溶剤を含まないインキを
使用しています。

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



東京都住宅政策本部

マンション耐震化通信 第10号

能登半島地震で転倒したRC造7階建てビル
(写真提供：JASO)



旧耐震基準マンション※は
耐震診断 を実施し
耐震性を確認しましょう！



※昭和56（1981）年5月31日以前の建築基準法で建てられたマンション。東京防災公式キャラクター
建築確認済証の「建築確認年月日」で確認できます。 防災サイくん

耐震化のご相談は
東京都 耐震化総合相談窓口（無料）

☎ 03-5989-1470

（公財）東京都防災・建築まちづくりセンター
月～金曜日9～17時（水曜日は9～19時）

耐震化の情報収集は

東京都マンションポータルサイト





能登半島地震被害状況レポート 執筆協力：JASO 耐震総合安全機構

2024年4月に現場調査を行った際の状況をお伝えします

2024年（令和6年）元日の16時10分に石川県能登地方で深さ16kmを震源とするマグニチュード7.6の令和6年能登半島地震が起きました。石川県の志賀町と輪島市で震度7、七尾市と珠洲市、穴水町、能登町で震度6強を観測し、死者は282人、行方不明者3人、重傷者336人、全壊8,424棟、半壊20,461棟（2024年6月18日現在）という被害でした。

断続的に続いていた地震活動

能登地方では、2018年頃から地震が断続的に続いており、特に2020年12月頃から地震活動が活発化し、それ以前と比べると地震回数が約400倍に増加していました（能登群発地震）。

その活動が収束しない中で、2024年1月1日16時6分に、石川県能登地方を震央とするマグニチュード5.5の前震が発生し、最大震度5強が観測されました。その4分後の16時10分にマグニチュード7.6の本震が発生したのです。



地震の揺れと津波と液状化によって木造家屋が軒並み倒壊している。

津波と液状化被害

本震の1分後には珠洲市に高さ3m以上の津波が到達しています。

石川県金沢市に隣接する内灘町では旧河道を宅地として利用していたため液状化が発生しました。



輪島市の大破したRC造8階建てホテルの1階ロビー。床が大きく湾曲して隆起している。大浴場に入っていたお客さんたちに浴衣を何枚も重ね着させて近くの警察署に避難させた。

地盤の隆起

この地震に伴い輪島市西部で最大約4mの隆起及び約2mの西方向への変動、珠洲市北部で最大約2mの隆起及び約3mの西方向への変動が観測されました。



輪島市の朝市通り。木造家屋の密集地域で細い路地をまたぐように住宅が倒壊して消火活動を妨げた。

朝市通りの火災

輪島朝市付近で火災が発生し、近隣の約200棟に燃え広がりました。この火災の原因については、地震の影響で建物内部の電線が損傷したことなどによる電気火災であったとされています。この火災が発生した当時、風はほとんど吹いておらず、プロパンガスのボンベから延焼が広がった可能性が指摘されています。

道路の崩落

富山県から石川県金沢市へ向かう区間で地震による道路の崩落が発生し通行止めとなるなど、石川県及び富山県内の多くの区間において通行止めが発生しています。長い期間にわたり住民や観光客らが孤立状態となりました。

避難の状況

災害直後に開設された1次避難所の避難者数は、1月2日に最大の40,688人に達し、4月9日時点で3,351人となっています。

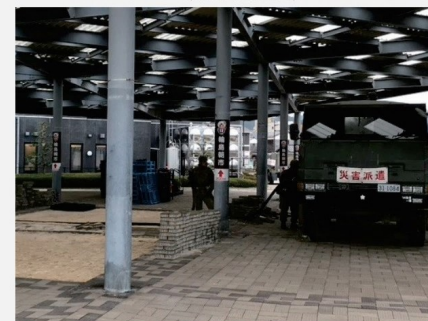
また、被災者の命と健康を守るため、環境の整った避難先への移動が実施され、1月8日に石川総合スポーツセンターメインアリーナを一時的な受入れ先である1.5次避難所として開設しました。1月9日には、2次避難施設へ移動するための受付窓口が開設されて最大5,275人(2月16日)がホテル・旅館等に避難しました。



志賀町の国道。道路が崩落した箇所の仮設迂回道路と本復旧工事が並行して行われている。(2024年4月1日)

避難所へのトイレ支援

今回の能登半島地震においては、携帯トイレや簡易トイレ、仮設トイレを被災者の要望を待たずプッシュ型で支援するとともに、被災者が衛生的に利用できるトイレ環境として、トイレカーやトイレトレーラーが被災地で有効に活用されました。



輪島朝市にほど近い輪島マリンタウンにおいて自衛隊による風呂提供が継続されていた。(2024年4月1日)

段ボールベッドの支援

発災直後から合計で約7,000個の段ボールベッド、約3,200個のパーティションがプッシュ型で支援された一方で、発災当初は避難所が過密で段ボールベッドやパーティション等を設置するスペースがなく被災者が利用を断るといった状況がみられました。また、様々な規格の段ボールベッドがあり、中には、寝返りを打つと落ちてしまうようなサイズのものや耐久性が不十分なものもあったとされています。

避難所において、コミュニティ内の関係が希薄で普段から交流のない人々が、助け合いながら長期の避難生活を続けていくことはストレスのかかることです。マンションの耐震性を十分なものにして、在宅での避難が可能になるように取り組んでいきましょう。

◇東京都からの在宅避難支援制度のご案内

東京都では、災害時においても自宅での生活が継続しやすいマンション等を「東京とどまるマンション」として登録・公表しています。

登録にはマンションに耐震性があることや、防災活動の実施などが必要となります。



東京とどまるマンション推進課長 トドまるくん



東京とどまるマンション概要ページ

耐震化の御相談は

東京都 耐震化総合相談窓口（無料）

☎ 03-5989-1470

（公財）東京都防災・建築まちづくりセンター
月～金曜日9～17時（水曜日は9～19時）



マンション耐震化通信アンケート
通信に関する感想・要望はこちら！



耐震化通信の
バックナンバー
も見てね！

